

(別紙3)

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名				
○保護者評価実施期間	R7年 3月 16日 ～ R7年 3月 31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9名	(回答者数)	8名
○従業員評価実施期間	R7年3 月16 日 ～ R7年3月31 日			
○従業員評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数)	10
○事業者向け自己評価表作成日	R7.年 4月24 日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・感覚統合	・日頃の何気ないやり取りや、活動の様子を見る上で、子ども達が「好きな感覚必要としている感覚」を把握し、発達段階に応じた感覚体験が効果的に得られるように、様々な教材を使い、楽しみながら取り組めるようにしています。また、「苦手な感覚」を少し軽減するなど、感覚面に配慮した支援や環境作りを行っています。	引き続き、研修、教材研究により、質に高い療育をみざしていきます。
2	・手作りおやつ（食育）	・おやつは全て手作りで提供させて頂いています。おやつには野菜等を使用し、食わず嫌いから「食べれた」に繋がり食の幅が広がるよう支援しています。また、様々な触感のものを提供する事で、噛む力・噛み切る力を育てます。	・食への興味がさらに広がるよう、また本人の強みの1つになれるよう、調理の機会を増やしていきます。
3	・周辺環境	・周辺には整備された遊歩道や小ささまざまな公園などがあり、いつでも散歩に出掛ける事が出来ます。徒歩で向かう事が出来るので、交通ルールを実践の中で学ぶ事が出来ます。	子供たちの見守りの強化をします。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・保護者様同士の関り	保護者が負担と感じている方がいること、休日に保護者会を開催しても集まらないのではないかと感じている。	保護者のニーズに合わせて開催方針や時期、回数を検討していくことが必要。
2	父母の会の活動や兄弟姉妹関係の支援がなされているかについて「わからない」の回答がありました。	コロナ前は、イベント活動に参加して頂いていましたが、コロナ化や感染症に事を含めて現在利用している児童中心の活動を考えて実行していました。その日の利用児童と職員に加えご家族も一緒に活動していただく場所の確保が出来ていないところです。	ご家庭参加型のイベントに参加の活動を伝える方法を考えていきます。
3			